

第9号

平成9年
4月1日

題字
植木 満支部長

東進

発行所

土浦一高東進会

茨城県立土浦一高
進修同窓会
東京支部

事務局 〒160 東京都新宿区新宿2-2-10 サニープラザ新宿御苑1102
大野金一法律事務所内 ☎03-3357-4311 FAX 03-3357-4312



マグノリアルホールに
琴、尺八の奏しちやべ



昨年八月十五日に平成八年度の総会・懇親会が東京プリンスホテルで開催されました。当番幹事は昭和三十七年卒で三十九年卒が補助する形で、矢口照雄氏を中心に進められました。午後一時より総会は始まり、一時半より懇親会で山藤和夫氏(23卒)と長戸琴氏(41卒)の司会が進められました。アトラクションは当番幹事の矢口氏自らの尺八と北浦敏子氏(40卒)と田中美智子氏(協力)の琴の演奏で皆さん聞き入っておりました。抽選会も行なわれ、当たるときに歓声と拍手で楽しい時間を過ごしました。

平成八・九年度土浦一高東進会役員

東進会規約の第五条(役員)および第六条(役員)の選任)の一部が改正され、代表幹事、支部幹事の呼称はなくなり、理事会体制になりました。理事は四部会からなり、総務は全体のまとめ、会員名簿の整理、学生幹事の増員。企画は総会・懇親会を当番幹事と企画。

趣味、研究会など各種行事の企画。広報は東進の発行(年二回)。他の広報部の発行。財務は東進会の会計。と実務的な作業を行います。東進会の運営が活発になるよう、会員の皆様にも御協力をお願いいたします。

顧問
小松澤慎二(5)
植木 和男(19)

会長
植木 満(8)

副会長
総括 芳尾 敬一(28)
企画 露木 修(31)
財務 土方登志子(32)
広報 土金 雅晴(36)

常任顧問
渡邊 光夫(20)
山藤 和夫(23)
坪井 洋(27)
黒田 常(28)
坂本 義之(31)

理事長
大野 金一(31)

副理事長
総括 田村 恒(31)
企画 沼里 征二(33)
総務・財務 中島 豊治(35)
広報 長戸 琴(41)

監事
砂山 嘉幸(24)
山田 明(28)

理事
矢口 照雄(37) 加固 哲夫(39)

総務
久保内 総子(39) 鈴木 良治(45)
丹羽 秀男(48)

企画
江崎 久枝(39) 久松 信明(41)
蛇原 芳和(46) 鶴町 利地(50)

広報
幕内 邦夫(43)

()内は卒業年次
学年幹事 各卒業年次から若干名

故郷と母校は

我が心の拠りどころ

常任顧問・東進土中45回同窓会長 渡邊 光夫

(旧制中学45回生・昭20卒)

東進会に呼應結成した東進土中45回同窓会内規の一項「会員に実子誕生の場合祝金十萬円贈呈」は当時内外の評判となった。然し土浦中学卒を誇りとする我々の本音は「会員死去の際の諸規定」の制定にあった。ところで平成七年一月、榎田順二兄死去。この規定により生花・弔電と左記弔辞を捧げ鎮魂し得たのは我々の心の慰でもあった。

「君が憂に我は泣き、我が喜に君は舞った土浦中学での四春秋。以来五十年の交遊。今、君と幽明境を異にす。悲しいかな……………」古歌に曰く。

あたへられしすぐせなりけり玉の緒の長き短きは宿世なりけり

とは申せ悲しきこと限りなく涙ながれてやまず。されど兄の心は血縁・有縁の人々の心の中に生きる。されば貴兄の心を我等の中に長く生かさなため、今後の人生を健やかに生きんことを誓う。兄よ安らかに眠れ。同級生一同」

また全国的な評価を得た第一海軍航空廠動員学徒記念誌「戦いのなかの青春」を刊行出来たのは、当時の記録を故郷と母校に残さんとする我々の心意気の所産であったと感じている。

禮記に「六十曰耆指使。七十曰老而傳。」とある。故郷と母校を心の拠り

どころにする我々同級生一同更に意気高らかに上寿百歳を目指す。土浦一高と東進会の隆盛を祈念する所以である。

(注) 六十曰耆 指使。
七十曰老 而傳。

桜の季節になると 思い出す

常任顧問 山藤 和夫

(旧制中学48回生・昭23卒)

今年の東進会総会も間近にせまり楽しみです。あの顔、あの人元氣だらうか、新しい顔もあるでせう、茨城弁で会話をすると、懐かしさで一杯です。桜の季節になると、柴峰の里も春の息吹、真鍋台校門の桜に映し出されるゴシック式玄関何と美しかったことか、半世紀前のことが生々しく思ひ出されます。旧制中学二年二学期より三年二学期まで学徒動員、今では考へられない貴重な体験をし、苦しかった当時の話題が尽きません。話はいつしか旧制中学の良さと、現在の教育制度の問題点にまで及びます。戦後の混乱期に社会に出て、ただ我武者羅に働き、同期は皆定年を迎えました。此の辺で振り返って反省し、今後の人生の糧にと思ふ昨今です。老兵未だ衰えず、元氣者の多い旧制中学四十八回生達です。

六月は東進会の総会が…

常任顧問 坪井 洋
(高4回生・昭27卒)

今年も六月が近づいて来ます。六月と云えば東進会の総会のある月であります。年に一度の、学窓を去ってから久しく会えなかった友人との廻り合い、或は毎年会える友人も居ます。各学年幹事の誘い、又総会の企画等毎年努力していますが、植木会長のお力で東京プリンスホテルのマグノリアホールという立派な会場が設定されているのです。そこに出席できることは本当に幸せであります。昨今社会情勢の著しい変化、経済面、規制緩和、情報化社会、先行不安材料に事欠かない世の中であります。そうした中であって一つ一つがしりと受け止めて頑張って生きて行かねばならないのであります。日頃の仕事に追われ目まぐるしく働いて居るそのような時こそ生の声、素肌に触れ合うような一時を過ぎて貰える貴重な時間を持つのが東進会とも云えると思います。故郷の友人との閑談、先輩のスピーチ、アトラクション等、多勢で楽しく過ごるのであります。総会に出席してよかった、又来年も行こうという気持ちになるような会、むづかしいことではありますが何か魅力のあるもの又人生の中で良き思い出になるような会にしたいのであります。今年が創立百周年の輝かしい伝統校と成り、更に誇りを持って生きて行きたいと思

原宿時代の思い出

常任顧問 黒田 常
(高5回生・昭28卒)

原宿と言っても「竹下通り」とか「若者達の街」を云々するわけではない。昭和50年代、東進会の前身、進修同窓会東京支部総会が原宿の東郷記念館で開催されていた頃の話である。

当時の支部長は私のおやじ。(中25回明治40年生れ)古ぼけた名簿を頼りに闇雲に案内を出していたようだ。

「年寄りがシャカリキになっちゃって人は集まらないヨ」と、非協力的だった私に愛想を尽かしたおやじは、私の小学時代からの友人、芳尾君(高5回)に協力を求めたらしい。田村君(高8回)の場合も社長命令(?)とあっては逃げようがない。出席者はいつも四十数名位だったと思う。彼等の努力のお蔭で、高5・高8共に20〜15名位はいつも集まっていた。土浦から来賓で来られた、榎原大先輩(中25回)の挨拶を憶えている。「東京支部では、水戸一高は何百人も集まると聞く。それにひきかえ、我が土浦は……。」支部長がしぶい顔をしていた。昔々の話である。

六〇年代そして平成へ。植木会長を頂く東進会の躍進振りにはご存知の通りである。学年幹事会、名簿編集委員会、総会準備委員会、定期幹事会等々、その精力的な動きに瞠目してしまふ。

関係各位の情熱に、敬意と感謝を。

東大四十三名合格!

公立校では全国一位!!

平成九年度国公立大入試では、東京大学に新卒三十三名、過年度卒併せて四十三名の大量合格となり、公立高校では、ダントツの全国第一位となった。新卒生の東大合格数は、昨年に引き続いて二年連続全国第一位である。折しも本年度は、創立百周年を迎える年に当たり、大躍進を遂げることができた。

筑波大学も新卒四十二名が合格し、過去の水準に戻りつつある。

私立大入試では、早稲田大学、慶應義塾大学をはじめ首都圏の最難関私立大学で極めて良好な成績を収めた。東京理科大学等で若干の伸び悩みが見える。

大学	合格数	新卒	旧卒	平均
北海道	5	3	2	7.2
東北	18	11	7	22.8
茨城	7	7		17.8
筑波	49	42	7	49.0
千葉	7	4	3	11.4
お茶の水女子	4	4		5.8
東京	43	33	10	27.8
東京外語	3	2	1	4.8
東京学芸	5	4	1	6.6
東京工業	16	12	4	
一橋	3	1	2	5.8
横浜国立	6	4	2	10.4
名古屋	3	2	1	3.8
京都	8	1	7	2.8
青山学院	34	27	7	25.2
学習院	13	10	3	13.4
慶應	65	42	23	52.4
上智	18	13	5	20.0
中央	34	17	17	36.6
津田塾	10	10		7.2
東京女子	16	12	4	10.6
東京理科	64	34	30	80.6

大学	合格数	新卒	旧卒	平均
日本	21	12	9	32.8
日本女子	18	17	1	15.0
法政	23	11	12	33.2
明治	39	19	20	44.8
立教	21	11	10	20.4
早稲田	87	44	43	71.4
立命館	16	5	11	12.0

大学種別	合格数	新卒	旧卒	平均
国立	205	142	63	240.4
国公立短	1	1		0.4
大学校等	1		1	4.8
公立	7	5	2	15.0
私立	596	328	268	706.8
私立短				1.0
合計	810	476	334	968.4

※ 平均は、最近5年間の平均合格者数

平成九年度
土浦一高東進会
総会・懇親会の
お知らせ

平成九年度の東進会の総会・懇親会の日程が次の通り決まりましたので、お知らせいたします。

日時 平成九年六月二十八日(土曜日)
午後一時～四時

会場 東京プリンスホテル
(港区芝公園三三三ー一)

会費

男性 一〇、〇〇〇円

女性 一〇、〇〇〇円

(年会費三千元を含む)

今回は三八年卒(高一五回)が当番幹事で宮本誠之氏を中心に準備しております。本部の進修同窓会の窓口で、東進会にも資料を送ってくれていた野村ルナさんが三月で退職になったそうで、慰労をする意味でご招待しています。(ちなみに宮本氏と同期の三八年卒です)アトラクションについては、今までの形とは異なるものにしたい意向で、企画委員会と詰めている所です。抽選会は今回も行なう予定ですが、沢山の方に景品が渡るように品数を多

くしたいので、景品の提供をお願いしたいとの事です。会社などの宣伝にもなりませんので是非ご協力下さい。提供して下さる方は、宮本誠之氏まで連絡して下さい。(当日持参も受け付けます)

電話 〇三ー三七九七ー三〇七一

(株)タクト(社長)

なるべく多くの方が(できれば参加者全員)何らかの景品を手にし、九年度の会に出席した記念になれば楽しさも倍増すると思います。

いつも総会に出席している方や昨年出席した方が来ないと、「どうしたのだろうか?」と思います。よく会っている人や、気になっている人、会ってみたい人達に「東京プリンスホテルでの東進会で六月二十八日に会おう」と一声かけてみて下さい。

初めての方を見知らぬ人ばかりで:と思うでしょうが、話をしてみると、兄弟姉妹や父母を知っている先輩、後輩だったり、仕事関係、会社関係で繋がりのある人だったりして、驚きや、懐かしさを味わえる絶好の機会です。年代は違いますが同じ学舎で青春を過ごした方々の集いからです、同期の方を誘って来てみて下さい。そして横の繋がり、縦の繋がりをも更に拡大させて行きたいものです。この秋には母校の百周年の記念行事が催されます。創立百周年目の東進会に多数の方々のご参加を期待しております。

会員いんふおめーしょん

大野金一理事長(昭三二卒)が、サリン事件で世間を騒がせたオウムの管財人として忙しく働いております。

土金雅晴副会長(高三六卒)が、中国武漢で生コンクリート製造のプラント工場を建設。今年中には本格稼働。

鶴岡義雄氏 洋画家(昭十二卒)、柳生博氏 俳優(昭三十卒)、海老原順氏 歌手(昭四六卒)、久野茂男氏 日産建設(株) 常勤監査役(昭三卒)が昨年九月にいばらき大使に選ばれました。

いばらき大使は実業界、学界、芸術、芸能、スポーツ、マスコミ界等各界各分野で活躍している茨城県にゆかりのある人が、県から委嘱されて茨城県の魅力や良さを様々な機会を通じて広く県外にPR活動をするものです。

委嘱状
海老原 順様
あなたにいばらき大使と
委嘱します。
平成8年9月1日
茨城県知事 橋本 昌

皆様土浦一高のOBとして、大いに羽ばたいて欲しいと思います。

へール・ポップ彗星を
見ましたか?

へール・ポップ彗星が地球に近づくにつれ彗星独自の尾が光を増し、肉眼でもはっきりと見る事ができました。太陽系の遙か彼方からやって来て数ヶ月間その神秘的な姿を見せて過ぎ去るうとしています。今度見られるのは二千年以上も先だと言われています。

このような彗星がいつから存在しているのか知りませんが、もっとサイクルの長い彗星が発見されるかも知れませんし、新たな彗星が誕生しているかも知れません。最近、多くの彗星が発見されていますが、気の遠くなるような年月を周期として動いている彗星や、もっと短い周期の彗星……今度私たちを楽しませてくれるのはどのような彗星でしょうか?

★ 編集後記 ★

東進会会報第九号発刊にあたりましては、諸々の事情により遅れました事を深くお詫び申し上げます。

編集におきましては、多くの方々のご協力により発送の運びになりました。今後に関しましては、先輩諸氏のご協力を戴きながら、年二回の編集に勤しんでいきたいと思っております。

ご協力の程、宜しくお願いいたします。(久松)